

週間漁海況情報—第10号

平成24年3月12日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図(H24.3.12)を示した。

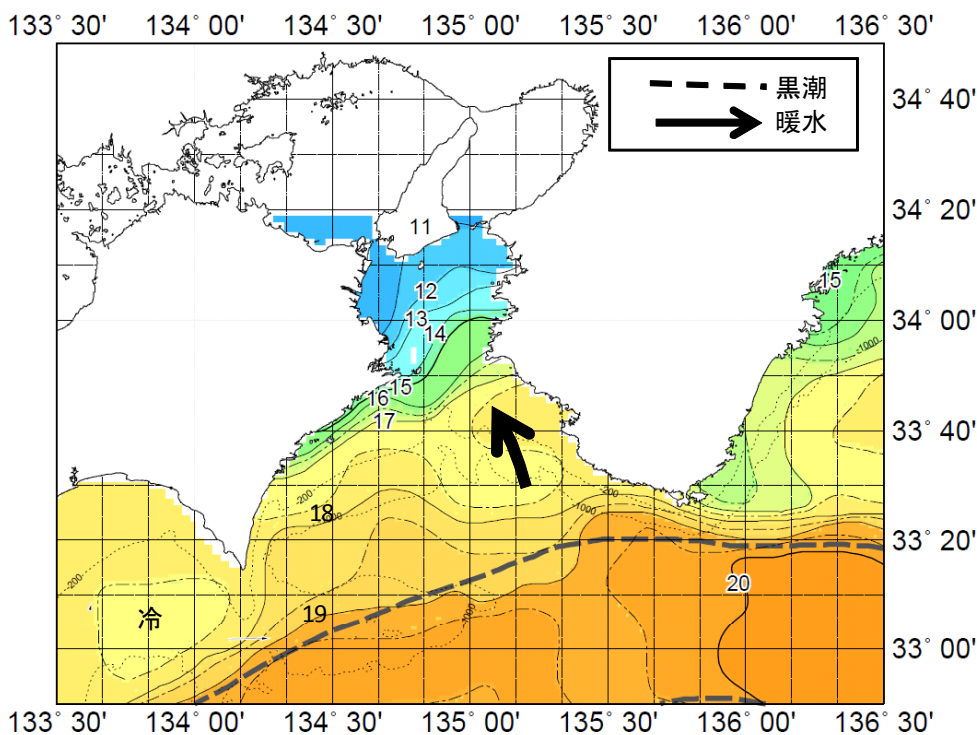
黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で8～9℃台、紀伊水道で10～16℃台、海部沿岸で13～17℃台である。

紀伊水道外域では、和歌山県沿岸に暖水流入がある。

海部沿岸は、南下した内海系水に覆われ、表面水温17℃以下となっている。内海系水と黒潮系暖水との潮境は海部沿岸の岸寄りから日ノ御崎付近にかけて確認できる。

漁業調査船「とくしま」で3月8日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層から30m層で「平年並み」の8.6～8.8℃であった。



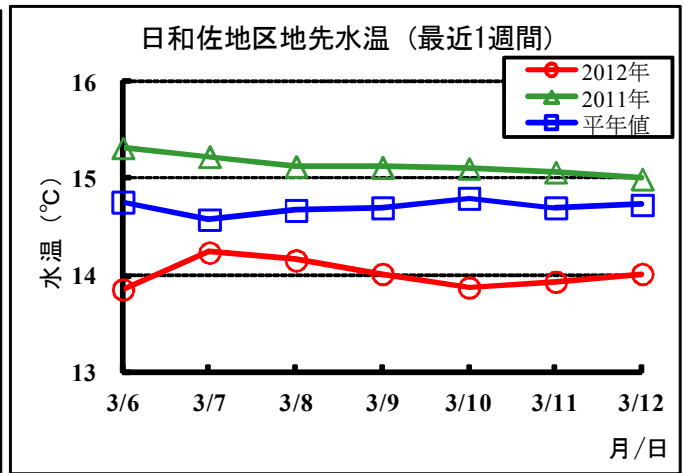
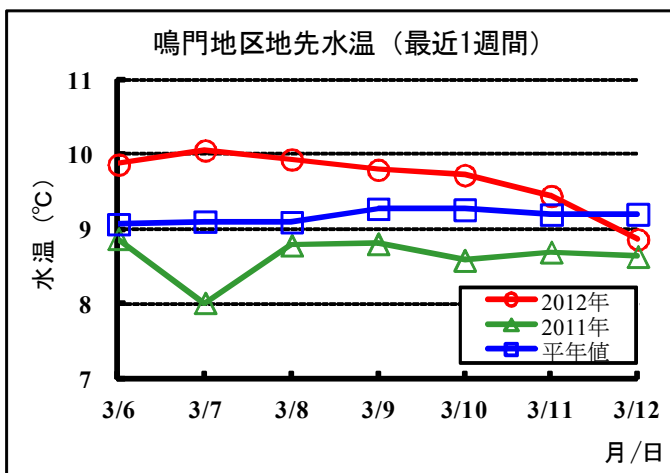
播磨灘海区観測結果

観測日		水 温				塩 分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
3/8	今年値	8.8	8.6	8.7	8.8	31.8	31.8	32.0	32.1
	平年偏差	-0.3	-0.3	-0.2	-0.1	-0.9	-0.9	-0.8	-0.7
	前年偏差	0.1	0.0	0.1	0.3	-1.1	-1.1	-1.0	-0.9

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の8.9～10.1℃、日和佐地区で「やや低め」～「平年並み」の13.9～14.2℃、牟岐地区は「やや低め」～「平年並み」の13.3～14.3℃で推移した(図は次ページに掲載)。

* 水温偏差の目安

平年並み: ±0.49以下, やや高め(やや低め): ±0.50～1.49, 高め(低め): ±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め): ±2.50以上



2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にアマダイが0.2トン（1日1隻当たり7kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸でブリが0.4トン（同15kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、ウルメイワシが0.3トン（同31kg）、カタクチイワシが4.0トン（同133kg）、サバ類が0.9トン（同62kg）、水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、大主体にゴマサバが0.4トン（同51kg）、小主体にサバ類（マサバ主体）が38.4トン（同4.8トン）、中主体にスルメイカが0.5トン（同61kg）、ブリが0.3トン（同43kg）、小小主体にマアジが0.9トン（同109kg）、中主体にマサバが4.5トン（同558kg）、マルソウダが0.2トン（同27kg）、メジロが1.2トン（同152kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.2トン（同5kg）、大主体にタチウオが0.3トン（同28kg）、紀伊水道で特大主体にタチウオが0.5トン（同31kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でイカナゴが7.1トン（同84kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 3月5日～3月11日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	29	213	7	大主体
建網		ブリ	24	364	15	
小型定置網		ウルメイワシ	10	309	31	
		カタクチイワシ	30	3,999	133	
		サバ類	14	861	62	
大型定置網		ゴマサバ	8	409	51	大主体
		サバ類	8	38,350	4,794	小主体、マサバ主体
		スルメイカ	8	490	61	中主体
		ブリ	8	341	43	
		マアジ	8	872	109	小小主体
	マサバ	8	4,462	558	中主体	
	マルソウダ	8	215	27		
	メジロ	8	1,212	152		
釣り	紀伊水道	アオリイカ	40	214	5	大主体
		タチウオ	11	312	28	大主体
パッチ網	紀伊水道	イカナゴ	85	7,100	84	特大主体

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「接岸」～「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。海部沿岸では、引き続き内海系水が南下する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の9～10℃台、日和佐地先は「やや低め」の14℃台で推移する見込み。